

## 石川県コンクリート診断士会(ICD) 活動レポート(2015年1月号)

### 活動近況報告(技術セミナー等の参加)

東京コンクリート診断士会(TCD)設立10周年(第18回)技術セミナー

- ・開催日:平成27年1月27日(金)13:00~17:00
- ・場所:東京工大・イノベーションセンター1階国際会議室
- ・参加者:79名(講師、パネラー含む)
- ・プログラム

講演「今後の社会資本整備のあり方について—特に老朽化対策について」

国土交通省 総合政策局 参事官(社会資本整備担当) 中原淳一氏

パネルディスカッション「インフラドックにおける診断士の活用」

コーディネータ:JCD・林会長

パネラー: 大津政康熊本大教授、岡本享久立命館大教授、横沢和夫 JCI インフラドック 委員、  
小野定 TCD 会長、田沢雄二郎 TCD 副会長、峰松敏和 JCI インフラドック 委員(JCD 理事)

### ・記事

設立10年目(平成17年11月設立、全国で第4番目)の記念事業の一環として技術セミナーを開催しました。(以下その概要です)

中原参事官の講演は、インフラの老朽化対策に関する国土交通省の取り組みが中心でした。昨年末創設された「民間資格の登録制度」とICD診断士の関係にも言及され、インフラの維持管理に携わる地方の市町村での技術者不足の解決策の一つとして「発注者側のアドバイザーとしての民間資格の活用」を模索しているということで、診断士および診断士会の活躍の場が広がる可能性もあります。

また、新設と更新費用のバランスにも触れ、「2013年度では3.6兆円(全予算の1/3程度)であり、維持管理を適切に行えば、20年後(2033年)でも4.6~5.5兆円の増加にとどまり、新設とバランス良く投資することが可能である。」の話もありました。

パネルディスカッションでは、「人間ドック」にたとえて既存のインフラを「インフラドック」に入れて診断する仕組み作りをJCIの委員会として2012年に立ち上げた経緯及びその成果について紹介されました。会場から診断士のインフラドクターとしての位置付け、地位向上等に熱い質問・提言も飛び交い、委員会に対する期待の大きさが窺われたディスカッションでした。最終報告会は、7月30日(木)に「コンクリート構造物の最先端診断技術に関するシンポジウム+コンクリート構造物のインフラドック構築フェジビリティ調査委員会 報告会」として東京で開催されます(詳細はJCI誌公告を参照願います)



パネルディスカッション状況

### ICD予告

石川県コンクリート診断士会「事例発表会」

- ・日時・場所 2月27日(金)13:40~16:50 金沢勤労者プラザ 4階 406 研修室
- ・会員による発表;5名、
- ・特別講演「(仮称)コンクリートの硫酸塩劣化」(一財)日本建築総合試験所 吉田夏樹氏

### その他の予告

福井県コンクリート診断士会オープンセミナー

- ・日時・場所 3月9日(月)アオッサ 6F
- ・講演「鉄道コンクリート構造物 強靱化の取り組みと課題」JR 西日本 松田好史氏

富山県コンクリート診断士会技術セミナー

- ・日時・場所 3月28日(土)

詳細は未定

## 最新情報・ニュース

SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）関連

### (1)公開実験「ファイブコンクリートを用いた大型構造物載荷試験装置スラブの打設」

日時・場所 2月27日（金）10:00～12:00 角間・自然科学研究科2号館C・5F会議室  
ファイブコンクリートの講演の後、打設現場の見学を予定しています。

### (2)連携講座・構造物メンテナンス講座開設記念シンポジウム「コンクリート橋の塩害劣化と電気防食工法による対策事例」

・日時・場所：3月27日（金）14:00～17:00 角間・自然科学研究科大講義棟レクチャール  
金沢大学・SIP ホームページも近々立ち上げる予定とのことです。

## 募 集

現場見学について

冬期に入りましたが、随時開催する方針です。所属会社等で行っている施工・点検等、見学可能な現場があれば是非ご紹介下さい。現場が診断士のスキルアップにつながる最短の道だと思います。

## 投稿記事募集

維持管理に関する新技術等の情報がありましたら会員の皆様に紹介していきたいと考えていますので提供をお願いします。**自社技術の紹介・PR**、「ホームページ見てください」でもOKです。数行の紹介文章と写真等を事務局までメール下さい。

## 【編集後記】

立春が過ぎたとはいえ、春の足音はまだ遠いようです。1月末発刊の予定が遅れました。年度末に向かい何かと気ぜわしいでしょうが、体調に十分配慮して業務に励まれますよう祈ります。石川県コンクリート診断士の活動に引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

（担当; 奥田 由法）